

我が国の大学の国際化とCOVID-19

佐藤 邦明

高等教育局高等教育企画課国際企画室長

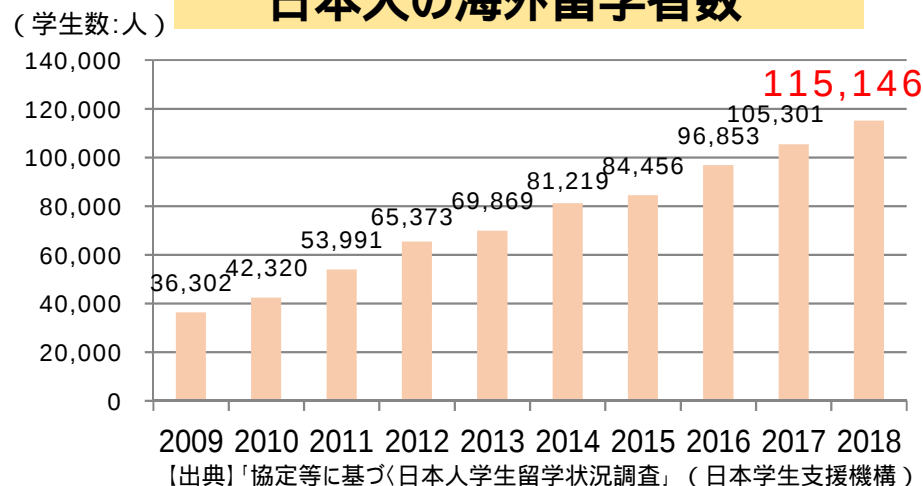


MEXT

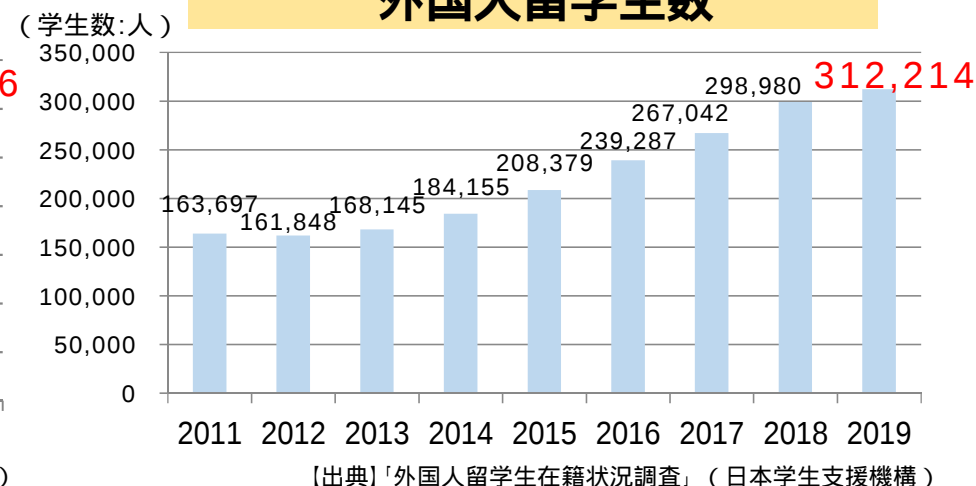
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

高等教育の国際展開

日本人の海外留学者数



外国人留学生数



大学の世界展開力強化事業

教育及び連携事業の国際化 (12億円)

交流実績(延べ) 2011年~2018年

派遣 約15,000人
受入 約13,000人

EU
国際共同修士課程プログラム
1.55億円 3件

米国
COIL型教育を活用した交流事業
2.19億 10件

アフリカ
交流事業
1.42億円 新規5件

アジア諸国
交流事業
4.04億円 25件

ロシア、インド 他
交流事業
2.40億円 11件

学生交流の促進

アウトバウンド: 81億円 / **インバウンド**: 260億円

- ・日本学生支援機構(JASSO)
- ・トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム

スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)

日本の大学の国際競争力向上
(37事業 33億円)



SGU採択 37大学のインパクト:

学生約 55万人・教職員約 8万人、合計 **63万人**
日本の大学全体の**約20%**に相当



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

授業の開始時期と遠隔授業の活用促進

新型コロナウイルス感染症の流行が高等教育に与える影響と文部科学省の主な対応

1. 授業の開始時期（5月12日時点）

・ **開始時期を延期**した大学等は、**約9割**

	授業の開始 時期を延期	例年通りの時期で実施	
		遠隔授業を 実施・検討	その他感染 予防に配慮
国立大学	90.7%	9.3%	-
公立大学	82.9%	13.3%	-
私立大学	87.0%	10.5%	0.1%
高等専門学校	87.0%	12.3%	-
（全体）	86.9% （930校）	10.7% （115校）	0.1% （1校）

【出典】「新型コロナウイルス感染症対策に関する大学等の対応状況について」
（文部科学省）

2. 授業の実施方法（6月1日時点）

・ **99.7%**の大学等で**授業再開**

・ **90.3%**の大学等で**遠隔授業**を実施

	面接授業	面接・遠隔を 併用	遠隔授業
国立大学	-	26.7%	73.3%
公立大学	5.0%	29.0%	66.0%
私立大学	11.7%	31.1%	57.2%
高等専門学校	3.5%	24.6%	71.9%
（全体）	9.7% （103校）	30.2% （322校）	60.1% （641校）

【出典】「新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた大学等の授業の実施状況」
（文部科学省）

文部科学省
における
主な対応

- ・ **遠隔授業の環境整備に必要な予算を措置（R2補正予算100億円）**
- ・ 授業の一部が**遠隔授業でも、単位の上限ルールが適用されない**ことを周知・徹底。



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

留学生交流への影響と奨学金支給に関する取扱い

新型コロナウイルス感染症の流行が高等教育に与える影響と文部科学省の主な対応

1. 外国人留学生の受入れ（4月21日現在）

- ・ 今春入国予定であった外国人留学生は、**ほぼ来日できていない。**
- ・ 母国への帰国が困難な課程修了者も発生。

2. 日本人学生の海外留学（4月21日現在）

- ・ 国の留学奨学金による**新たな派遣は一旦停止。**
- ・ 私費留学も取り止め又は延期の検討を要請。

文部科学省における主な対応

（１）新たに渡日予定の外国人留学生

- ・ **所定の期間から遅れて渡日**
- ・ 秋渡日など**奨学金支給の期間変更**

でも奨学金支給

（２）在籍中の外国人留学生

在籍確認できない場合の特例措置を実施

文部科学省における主な対応

奨学金支給の柔軟化を実施。

修学上の配慮について

- ・ 補講や履修登録期間の延長等について検討するよう周知。
- ・ 交流協定による短期留学では、学生が不利益を被らないような**単位取得条件の協議等**を行うよう周知。



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

新型コロナウイルス感染症の流行が高等教育に与える影響と文部科学省の主な対応

事業の概要

- アルバイト収入減による「学びの継続」の危機を抱える学生への**現金給付**
- 新型コロナウイルス感染症による影響の**長期化**も見据えた「学びの継続」のためのこれまでの支援策との連携

アルバイト収入により学費等を賄っている学生等で、当該アルバイト収入が大幅に減少し、「学びの継続」が困難なもの

対象者： 約 43万人 給付額： 住民税非課税世帯の学生 20万円 所要額： 約 530億円
 上記以外の学生 10万円

家計急変世帯への対応

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯の学生等から随時受付。
- ・家計急変後の所得により判定し、支援。

高等教育の修学支援新制度

- ・6月末までは、
申請日の月から支給開始
できるよう運用拡充。

貸与型奨学金

従来から、家計急変により奨学金の貸与が必要となった学生等への支援を実施。

授業料納付時期の猶予等

- ・授業料等の納付が困難な学生等に対して、
納付時期の猶予等を図る等、
各大学等に対して要請。

各大学独自の授業料等減免等に対する支援

- 各大学が独自に行う授業料免除のうち、家計急変を事由とするものについて必要な経費を計上。

(参考)令和2年度補正予算
国立大学：49億円、私立大学：97億円

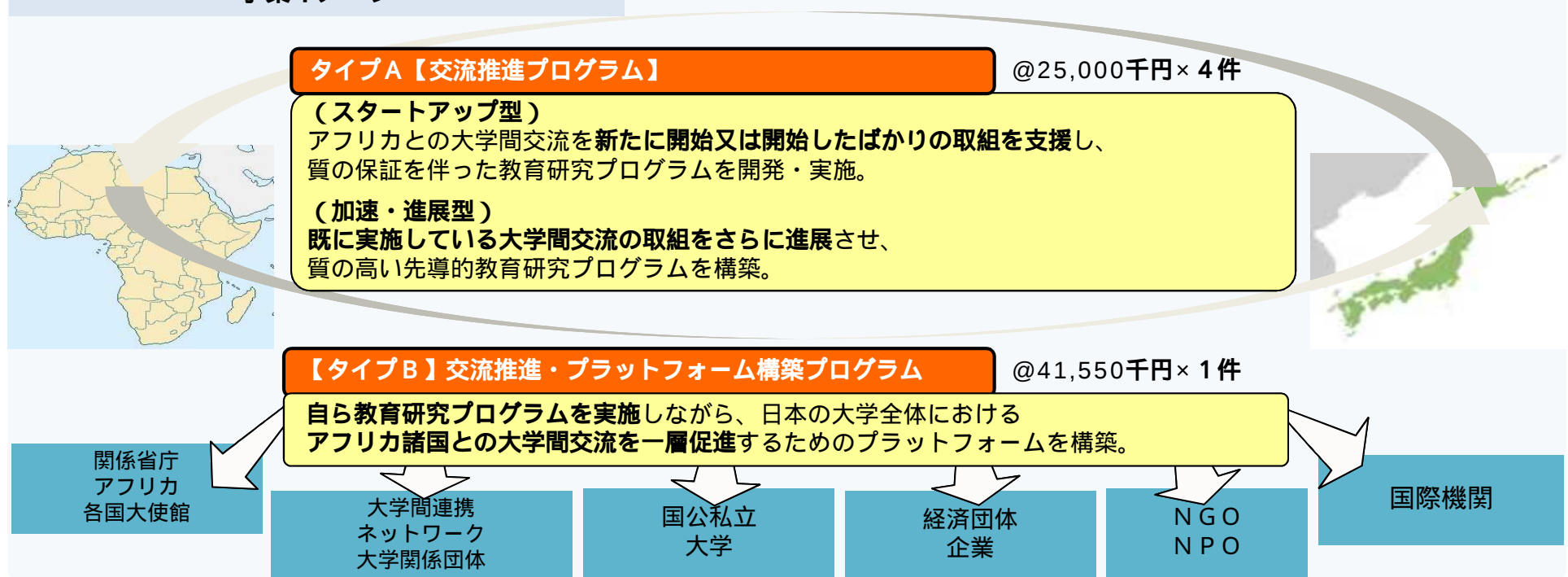
大学の世界展開力強化事業 - アフリカ諸国との大学間交流形成支援 -

事業概要（補助期間：2020～2024 5年間）

2020年度予算額（新規）142百万円

- アフリカとの質保証を伴った大学間交流を支援することで、国際ネットワーク形成と持続可能な成長に貢献する人材を育成
- 研究者になる前の学部・修士段階において、海外との交流を進めることで、大学の研究力の向上にも貢献

事業イメージ



社会へのインパクト

- **人的ネットワークの形成**
 - ・世界と日本の成長に貢献するグローバル人材の活躍
 - ・外国人留学生在が日本とアフリカの橋渡し役に
 - ・研究者交流を下支えする学生交流を促進
- **社会経済への影響**
 - ・国際共同研究へ繋がり、科学技術イノベーションを創出
 - ・企業レベルの交流、ビジネス拠点の進出
 - ・政府のインフラ輸出等にも寄与
- **重要な国・地域との関係強化、国民間の相互理解促進**



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

大学の世界展開力強化事業 - アフリカ諸国との大学間交流形成支援 -

今後のスケジュール

8月7日（金）	公募締切（ <u>約1か月延長</u> ）
10月中旬	面接審査
11月下旬	選定結果通知
12月（予定）	交付内定（事業開始）

新型コロナウイルス感染症の感染リスクに最大限配慮し、

- 初年度（令和2年度）については、学生の渡航を禁止し、オンラインによる交流のみ
- 入国後、一定期間隔離されることを前提とした交流プログラムを構築することを公募の条件（ ）とする予定。

公募要領等を修正するため、メールにて質問受付の機会を設ける予定。



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

大学の世界展開力強化事業

COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援

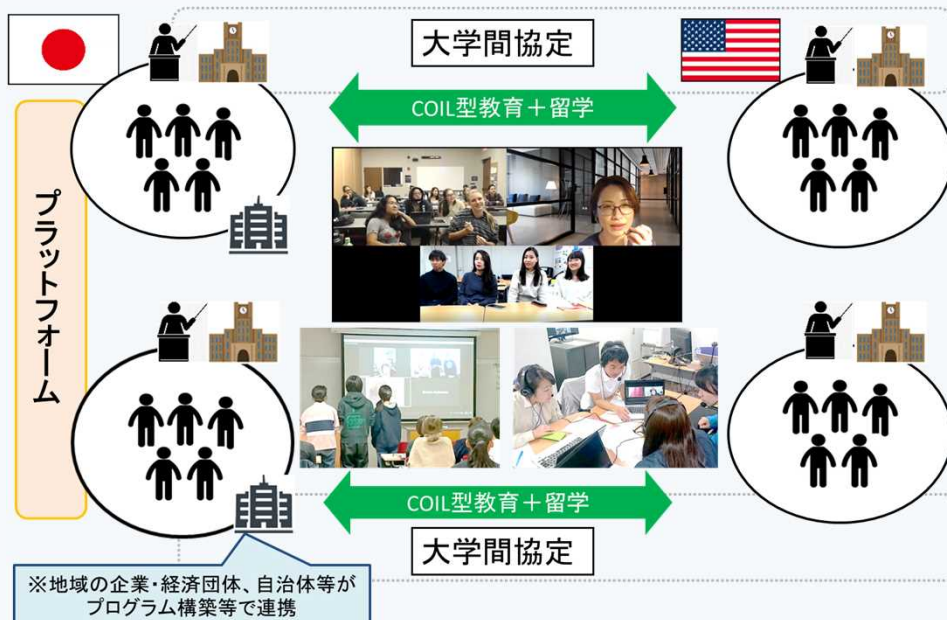
事業概要（補助期間：2018-2022 5年間）

2020年度予算額 219百万円（前年度予算額 243百万円）

- 米国教育協議会（ACE）協力のもと、オンラインを活用した双方向の国際協働学習（COIL）方式に基づく、日本の大学と米国の大学との大学間交流を支援。 COIL（Collaborative Online International Learning）
- 採択件数：10件（千葉大学、東京大学、東京外国語大学（国際基督教大学と連携）、東京藝術大学、鹿児島大学、琉球大学、大阪市立大学、上智大学（お茶の水女子大学、静岡県立大学と連携）、南山大学、関西大学）

事業イメージ

- 先導的な国際教育プログラムの開発
- ・ COIL型協働学修プログラムの開発
- ・ 学修プログラムを共有するためのプラットフォーム管理・運営
- ・ COILと連動して実施する交換留学



教育手法

- 留学開始前：オンラインで語学学習を実施。
- 帰国後：オンラインでの語学学習を継続し、語学力をさらに強化。
- 協働プロジェクトを通じて、他国の視点における文化の違いを認識し、理解する。
- パートナー大学と協働のオンライン講義やゼミ活動を提供。
- 多様な目的・人数に応じた交流を実施。

期待される効果

- 地理的条件を問わず、国際協働学習機会の提供が可能。
- チームワークや協働による異文化適応力を強化。
- 国際的な教育機会を享受する学生が拡大するとともに、海外相手国学生とのネットワークの継続的確保が可能。
- 留学効果が増大・持続する相乗効果の期待。
- グローバル時代に必要な資質・能力の向上。
- 大学全体の国際化を推進。
- 国際協働教育活動を通じた教員の質を向上。

交流学生数（2018実績）派遣214名、受入217名



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

スーパーグローバル大学創成支援事業 オンラインシンポジウムシリーズ



開催趣旨

- コロナ禍における採択大学の対応状況を共有し、現状の課題や気づきを顕在化
ポストコロナにおける「大学の国際化」の在り方を議論
- 高等教育における「ニューノーマル」について議論し海外にも発信
新たな高等教育の姿を描き、我が国の大学の存在感を世界にアピール

< シリーズの概要（現時点案） >

- 6月30日 採択校大学（ ）を対象としたキックオフウェビナー
スーパーグローバル大学及び大学の世界展開力強化事業採択校を対象とした課題共有の場
- 【第1回】 主に海外における大学の取組事例及び高等教育研究者による話題提供
- 【第2回】 日本の大学における取組事例紹介及び第1回を踏まえた議論

シンポジウムに関する情報は、随時発信！

SGU基幹サイト

(<https://tgu.mext.go.jp/en/index.html>)

国際企画室Facebookページ「みんなのglobal（仮称）」

(<https://www.facebook.com/minnnanoglobal/>)



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

新型コロナウイルス感染症の影響による課題（例）

- 学生や教職員の交流の停止による事業の停滞
- ポストコロナを見据えた新たな事業戦略の策定や実際の渡航及びオンライン交流を合わせたBlendedプログラムへの見直し
- 学生の安全確保や危機管理のあり方
- オンラインによる国際教育交流を行うための機材・人員の確保やノウハウの共有
- 学生交流の停止によるキャンパスの国際環境の維持・あり方
- 外国人留学生減少に伴う授業料等の減収による財務への影響



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

これからを考える “国際化efforts”のReshaping / Redefiningの必要性 “Better”のきっかけに

- ✓ **対面とOnlineのBlended / Hybrid** = 質・教育成果の明確化
 - ・量から質へ：Onlineでの留学「代替」は困難。「補完」「新機軸」？
 - ・留学で何を学ばせようとしていたか、何が補完できないか
 - ・相手の授業だけでなく、こちらの授業もさらすことになる
- ✓ **学生サービス** = 安全管理、組織・業務の強化・効率化
 - ・留学生受け入れ時の体制（キャンパス、自治体・地域）
 - ・送り出しの際の判断基準・留意事項
 - ・Online化の加速による組織と業務の強化と効率化
- ✓ その他：財源の在り方、海外提携校との提携内容・方向性、リスク分散 etc.

大学で学ぶこととは？ 留学とは？



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

Thank you for your attention.



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN